

## 第6回 県政運営評価戦略会議 会議録

- 1 日時 平成29年3月22日（水）午後1時30分～午後2時25分
- 2 会場 県庁10階 大会議室
- 3 出席者 委員 県  
阿部 頼孝（敬称略，以下同じ） 朝日 隆之 監察局長  
石田 和之 近藤 理恵 監察局次長  
植田 美恵子 佐藤 泰司 総合政策課政策調査幹  
近藤 明子 平井 琢二 地方創生推進課長  
坂本 真理子 窪 裕司 評価検査課長  
佐和 良佳  
田村 耕一 ほか  
鳴滝 貴美子  
南波 浩史  
橋本 延子  
浜口 伸一  
藤原 学  
榎本 久実  
森本 長生

### （会議次第）

- 1 開 会
- 2 議 事  
（1）徳島県総合計画審議会への提言書に対する回答について  
（2）地方創生“挙県一致”協議会への提言書に対する回答について  
（3）平成29年度の県政運営評価戦略会議について
- 3 閉 会

### （議事項目と概要）

- 1 監察局長挨拶
- 2 徳島県総合計画審議会への提言書に対する回答について（資料1）
- 3 地方創生“挙県一致”協議会への提言書に対する回答について（資料2）
- 4 平成29年度の県政運営評価戦略会議について（資料3）
- 5 監察局長挨拶  
（以下，概要は別に掲げる）

## ■ 監察局長挨拶

本日は、第6回県政運営評価戦略会議ということでございます。石田会長をはじめ委員の皆様方におかれましては、年度末の大変お忙しい中、皆さんに御出席いただきまして、本当にありがとうございます。

8月の暑い時期に評価をさせていただきまして、まとめりました評価結果、行動計画につきましては、昨年11月29日に徳島県総合計画審議会におきまして、石田会長に御出席を頂きまして、総計審の近藤会長に、直接提言書をお渡しいただいたところでございます。

また、総合戦略につきましては、昨年11月11日、地方創生“挙県一致”協議会の議長あてに提言書をお送りさせていただいております。

本日は、これら提言に対する審議会等からの回答につきまして、担当部局から、御報告をさせていただきます。

そのあと、来年度の県政運営評価戦略会議の運営につきまして、御協議をいただけたらと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

本日、皆様方には、忌憚のない、御意見、御提言を賜りますよう、お願いを申し上げます。冒頭の御挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願い申し上げます。

## ■ 議事

(会長)

それでは、議事に入らせていただきます。皆様、議事の進行に御協力のほどよろしくお願いいたします。

まず、議事1の「徳島県総合計画審議会への提言書に対する回答について」に入りたいと思います。本年度、戦略会議で評価いたしました「新未来『創造』とくしま行動計画」の結果につきましては、昨年11月29日に徳島県総合計画審議会へ提言を行いました。これに対する審議会からの回答について、今回、御報告いただきます。

それでは、徳島県総合計画審議会・事務局である総合政策課・佐藤政策調査幹から、報告をお願いいたします。

(総合政策課)

資料1の説明

(会長)

ありがとうございました。

ただ今の報告に関しまして、何か、御質問等がありましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(質疑無し)

(会長)

では、続きまして、議事2の「地方創生“挙県一致”協議会への提言書に対する回答について」に移りたいと思います。

今年度から、戦略会議にて評価を行っております「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の結果につきましては、昨年11月11日に地方創生“挙県一致”協議会へ提言を行いました。これに対する協議会からの回答について、今回、御報告いただきます。

それでは、地方創生“挙県一致”協議会・事務局である地方創生推進課・平井課長から、報告をお願いいたします。

(地方創生推進課)

資料2の説明

(会長)

ありがとうございました。

ただ今の報告に関しまして、何か、御意見、御質問等はございますでしょうか。

はい、お願いします。

(A委員)

意見でございます。先ほどの総計審の方も総合戦略もどちらも我々が評価したことに対して、いろいろな取組とかを御検討いただいて、本当にわかりやすくまとめていただいているとともに、現実に即した展開になっているのは、本当に素晴らしいなと思いました。

今、「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」のアクションプラン編の改善見直しで、とくしまジョブステーションを活用した就職率というところをあげていただいているのですが、これC評価になったからというところで改善案を御提示いただいているところです。

ジョブステーションを活用した人たちの割合を上げていきたいと思いますということでありまして、これの一つの意味は、ワンストップで提供していく、ここを見ると、ここに行くと徳島の仕事の情報が得られるとか就職につながっていくという意味では本当に重要なところだと思います。新たなやり方ということでは本当に重要だと思うんですが、一方で、学生たちって大学にお寄せいただいている求人情報とか、ネットで自分たちで登録して、そこから得た情報を活用して就職す

る場合も多いですので、この目標値を達成していただきたいところはある意味ではあるのですが、あまりそこまでこだわらなくてもいいかなというふうな感じを受けました。

全体的に、きちんと評価とそれを反映したプランがずっとできていて、いいような流れをつくっていただいておりますというコメントでございます。

(会長)

返事はいらないでしょうか。他に何かご意見とか、御質問はありますでしょうか。

僕から一つだけ意見といいますか、お話をさせていただければと思います。総合戦略ですけれども、こちらの方は基本的にKPIがすべての事業に対してもうけられていて、それが進捗の目安であったり、目標であったりということで進められているかと思えます。

せっかくこれだけやっていただいている、それぞれ目標を達成できましたとか、達成できていないとか、これをもう少しわかりやすく、我々はこの説明いただいているんですが、県民に広くわかりやすく周知、発信していく方法として、例えば信号機みたいに、できています＝青、もうちょっと＝黄色、だめ＝赤みたいな、ぱっと見て直感的に進捗状況がわかる、そういうふうなのがWEBページでも開けてでてみるみたいな、青・青・青だとこのへんはよくできている、黄色・黄色・黄色だとあぶなそうだなとかわかるような、一手間がかかるかもしれませんが、そんなふうなわかりやすく伝えていくというのがあってもいいのかなというふうに思ったりいたしました。

多分、こういう資料をいちいち読む、読んで内容理解してというのはかなり関心なりが強い人たちである。ちょっと興味がある人がぱっと見てぱっとわかる、そういう人たちにもこんな感じでやっているんだな、頑張っているんだなと、いろいろわかるような、そういうのがあればいいのかなと思ったんですけど。そのへんお聞かせいただけたらと思います。

(地方創生推進課)

今、会長の方から県民の皆様に対して、総合戦略の進捗状況についてよりわかりやすく、より伝わりやすく工夫していきべきではないかという御提言を頂いたところでございます。おっしゃるとおりと思っております、例えば数値目標ということでKPIを掲げておりますけれども、その数値目標の達成状況という様式上の記載がございまして、そこを活用しながら、色つけをすることによりまして、できるだけ一目でわかるような形で進捗状況を提示していきたいと考えてお

りますところでございます。

それから、WEBページの方にもしっかりと反映して参りたいと考えております。

(会長)

ありがとうございます。色付けたりとか、いろいろな方法があるとは思いますが、そういうのをつくるときっとわかりやすくなるのかなど。是非お願いいたします。

他に何か、今後に向けてとかありましたら、いかがでしょうか。

(B委員)

今日も日和佐からこちらに来る際に、明らかに外国の方のお遍路さんをみかけました。最近、県南の方は県西部と比べて、西欧系の方、ラテン系の方、アジア系の方がそういう方が多い。一時に比べて増えている。一人の方や複数の方もいるが、その人がどこから来てどこに行くのか、すごく気になっていて、ビッグデータ、ビッグデータといわれておりますけど、そういうのを活用すると今後にいかせるのではないか。表記にしても、今だったら英語か中国語かハングルしかないんですけど、この前、英語が全く通じない方が来て、ジェスチャーを使ったりしました。いろんな方がいるのでそういう傾向をつかめたら。

(総合政策課)

御意見いただきました、外国人の方が増えてきておまして、それに対する受入れ体制や環境整備ということで、お話にありましたように西部の方では、団体旅行客さん、特に東アジアの方からかなり受入れが進んでいる。県南の方では、また、西部の方でも一部西欧の方が来られているとお伺いしております。今、外国語対応ということでは、いろいろな無料アプリがありまして、その無料アプリを活用することで、英語や中国語だけでなくその他の言語にも対応できるという状況もあると聞いております。

それから、どこから入られて、どこへ行くのかという行動動態についても把握してはどうかということでした。お話にありましたように、ビッグデータということでIoTやAIを活用して分析するという研究が総務省や経産省でもすすめられております。観光分野でも担当部局が昨年度実証的にやったという話も聞いておりますので、そういった取組を深めていって、有効的に活用する必要があると思いますので、各部局にも伝えまして、そういった取組が進められたらなと考えております。

(地方創生推進課)

歩き遍路の皆様のような情報と直接的な話ではないのですが、リー

サス（地域経済分析システム）というシステムがございます。「NAVI TIME」というカーナビ情報を民間会社からビッグデータということで御提供されておりました、それによって旅行者の皆様の行動を分析できるようなシステムがございますので、そういったものを活用しつつ、お話にありましたような動態をどう把握していくかということもしっかりと進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

（会長）

ありがとうございました。他にございますでしょうか。

（C委員）

観光客の誘致のことなんですけど、大型客船についての項目はこの中には入っていないのでしょうか。

（総合政策課）

大型客船につきましては、「新未来『創造』とくしま行動計画」の改善見直しシートの65ページ599番、行動計画の数値目標といたしましては、「クルーズ来県者数」の目標値を設定しております。こちらの方は、今年度は実績がかなりあったということで上方修正をいたしております。

その受入れには地元の小松島市さんをはじめ、地域をあげて一生懸命頑張っているという成果もあって、こうして実績が上がっていると思っておりますので、県と地元が連携する中で新たな誘致に努めていけたらなということで上方修正をさせていただいております。

（C委員）

去年よりは、船が1つ減っているみたいに言っていたんですけど。だから、頑張っているといっても、地元が和田島の赤石ふ頭なんですすぐ近くなんですが、そこに大きな船がとまって、中のお客さんを輸送するバスの通り道になっているだけなんですよね。小松島の和田島、赤石とかあたりって。県の方としては、いつも鳴門とか西の方、観光地の方を探しているみたいなんですけど。本当に地元の方にあまり話がない。それをもうちょっと検討いただけたらと思います。

（総合政策課）

せっかくたくさんの方が外国からお見えになっていますので、やはりそういった面での経済波及効果ですとか、より徳島、地元を知ってもらうという良い機会ですので、今御指摘がありましたことはごもっともだと思いますので、担当部局とも連携しながら、そうした方向で進めてまいりたいと考えております。

(会長)

よろしいでしょうか。それではここで、佐藤政策調査幹と平井課長は退席いたします。御出席いただき、ありがとうございました。

続きまして、議事3の「平成29年度の県政運営評価戦略会議について」に移りたいと思います。

まず、資料3「平成29年度 県政運営評価戦略会議について(案)」を作成しておりますので、事務局から説明をお願いいたします。

(評価検査課長)

資料3の説明

(会長)

ありがとうございました。

ただ今説明のありました「平成29年度 県政運営評価戦略会議(案)」につきまして、何か、御意見、御質問等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(質疑なし)

それでは、この内容で来年度、県政運営評価戦略会議を開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。

なお、現地視察の視察先、日程等につきましては、私に、御一任いただければと思います。よろしいでしょうか。

続きまして、事務局から何かありましたら、お願いいたします。

(評価検査課長)

今回の戦略会議については、先ほど御説明しましたように、本年5月に開催を予定しております。視察先、日程等につきましては、石田会長と御相談の上、詳細が決まり次第、御連絡させていただきます。

また、本日の会議録については、事務局でとりまとめ、石田会長に御確認いただいた上で、ホームページなどで公表させていただきたいと考えてございます。

(会長)

以上をもちまして本日の議事を終わらせていただきます。議事の進行に御協力いただき、ありがとうございました。マイクを事務局にお返しします。

(事務局)

石田会長様、お疲れ様でございました。ここで閉会に当たりまして、朝日監察局長より、一言お礼を申し上げます。

(監察局長)

石田会長さんをはじめ、委員の皆様におかれては、御熱心に御論議いただき本当にありがとうございました。

また、委員の皆様の任期が来月末までということで、今回が現委員での最後の会議となりました。およそ2年にわたりまして、御審議いただきまして、本当にありがとうございました。

これまで皆様方から、頂きました御意見等につきましては、可能な限り県政運営に反映してまいりたいと考えております。今後とも県勢発展のため、御協力を頂きますように、改めましてお願いいたします。

それでは、これをもちまして、第6回の会議を終了させていただきたいと思っております。本当にありがとうございました。